

2017年度 臥竜塾年間講座 年間テーマ「文字・数・科学」 第回「数」③

第49号 2018年2月4日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

数講座③

1月23日（火）の臥竜塾年間講座では、「数講座③」についての講座が行われました。

第1回数講座では、数覚について（本誌、第13号）

第2回数講座では、新宿せいが子ども園の実践発表（本誌、第33号）

そして、第3回目となる数講座では、「小学校へのつなげ方」というテーマで、小学1年生で習う算数の内容を見ながら講座が行われました。

小学校の算数の授業を通して、保育園の「数」とは何かを考えられたらということで、教科書の内容を見ていくことになりました。

今年度実施した「数」講座の過去のレポートにつきましては、本誌第13号、33号をご参照ください。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

保育所保育指針に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目の中に「数量・図形、文字等への関心・感覚」があります。

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要観に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚を持つようになる。



保育者のためのはじまりシリーズ
学習研究社（2001/2/15）
藤森平司 著

第一学年「算数」の目標・内容

目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

内容

- A 数と計算
- B 量と測定
- C 図形
- D 数量関係

(小学校学習指導要領より)

算数の教科書の内容

仲間集め

Q：ウサギは何羽いますか？

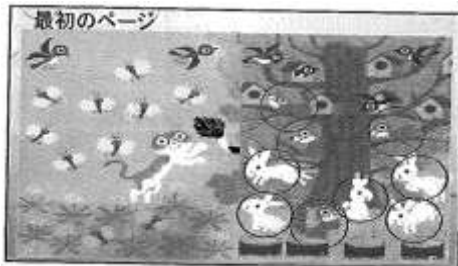
A：5羽と答えられると思いますが、子どもに聞いた時に4と答えてしまっても、それは間違いと決めつけてはいけません。もしかしたら、リスをうさぎと数えたかもしれない。数を数えるのは対象を知ることからはじまります。保育で言うと、仲間集めの集合からはじまり、井型ブロックを箱の中に入れていきます。

10までのかず

10でつまずく子が多く、誤って101と書いてしまう子がいます。卵のパックは10個で一つのまとまりになっているので、保育室に置いておくと10という数を経験できます。



小学校学習指導要領



教科書の最初のページ



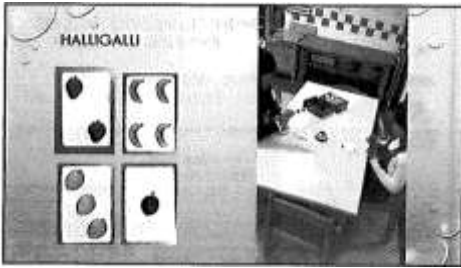
同じ形のブロックを箱の中へ！



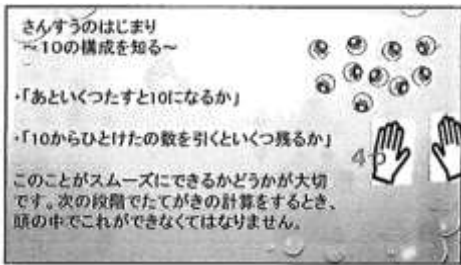
数字と具体物が一致



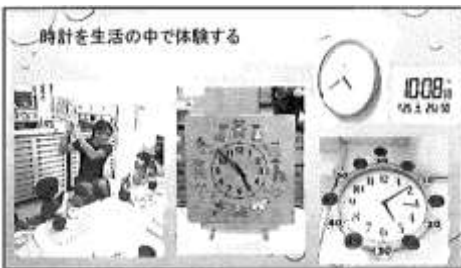
10までの数



ゲームパズルゾーンでの遊び



子どもたちの理解に合わせた声掛け！



新宿せいが子ども園での事例



幼児クラスでは休みの人数を足して報告することを毎朝しています。10より大きい数に入っていくと位取りが大切です。繰り上がりの計算では、 $9+4$ だったら、先に4を3と1に分け、先に10をつくることで13という考え方が基礎になってきます。

足し算・引き算

いちご、バナナ、マスカット、ブルーベリーの4種類をやま札に出して果物の合計の数が5になったら鈴を鳴らすゲーム。

算数の始まりにも10から数を引くと、いくつ残るかというものがあります。まず、ドットに置き換えて考えて、次に式に入ります。注意点として「合わせて」「全部で」と言うと、足し算のことと教えてしまう先生もいるようですが、頭の中でイメージすることが大事で、生活の体験が鍵になります。

時計

1年生で一番躓きやすいと言われているのが時計の単元。2歳児はまだ数字が分からないため、真ん中の時計には動物の絵が描かれています。

「6の象さんになったらお代わりだよ」と声掛けをしています。

大きさ比べ

物の長さを比べたり、面積を比べたり水の高さを比べたりがある。以前の科学の講座の際に、太くて長い筒に水を入れたものと、細くて高いものに水を入れ、「どっちが高いですか？」と聞いたら、高い方に水が多く入っていると思いがちですが、実は同じという実験を行いました。幼児クラスにあるものとして1cm~100cmのもの探しということを行っています。2cmのものを見つけたら写真で撮って、貼ってもらえるという活動を幼児クラスで行っています。

数講座③を終えて思うこと



保育園の1-100のものさがし

これまでの講座でも、藤森平司著の『さんすうのはじまり』の著書の内容が用いられ、单元ごとに新宿せいが子ども園では、実際にどのように保育を行っているのかを、保育実践を見ながら行われていました。

昨年の臥竜塾年間講座を通して、私自身、保育の奥深さを感じ、あいにく参加できなかった講座で教科書を使ったという話を聞き、「1年生ではどんなことを習うのだろう？」と興味が湧きました。

早速、教科書を購入しパラパラページをめくっては、1年生の内容に懐かしさを感じていました。今回小学校で習う内容と新宿せいが子ども園の保育実践をお聞きし、保育の奥深さや楽しさを改めて感じました。

『さんすうのはじまり』のあとがきに「もうすっかり分かっているつもりでいたことが、意外と正確にわかっていないことに気付いた方も多いのではないのでしょうか。教える人がよく分かっていないと、教わる子どもの理解も浅いものになります。」

「幼児期に一番大切なこと、それは〈数についての具体的なイメージをしっかりと持つこと〉です。」とあります。2001年に初版がなされ、藤森先生は、今の保育所保育指針が言われていることを当時から、仰られていたのだと、あとがきを読み感じました。

小学校学習指導要領の内容を見ても、1年生から様々なことを学ぶことが分かります。そして、幼児期の終わりまでに育てほしい姿もありますが、子どもたちが小学校へ入学する期待を抱いて、卒園式までの約1か月の園生活を楽しんで欲しいと、講座を通して感じました。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)

●過去のバックナンバー

第46号

築120年古民家『聴福庵』⑫

第47号

職域別見守る保育セミナー前編

第48号

職域別見守る保育セミナー後編

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>



〒161-0023

東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビルディング2号館10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマールジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢



メールマガジンのご登録は、QRコードからお願いします。